

第 V 部 調査票と単純集計結果



調査期間 令和2年10月30日～11月24日  
 標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,507 (50.2%)  
 \* 「n」は、質問に対する回答者数の総数を表す。  
 「-」は、回答者が皆無であることを示す。  
 ※比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、  
 合計が100%にならないことがある。

## 令和2年度(2020年) 神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

### 【アンケートのテーマ】

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 気候変動への適応       | 8 地域コミュニティ         |
| 2 環境に配慮した生活      | 9 子育てにおける体罰        |
| 3 生物多様性          | 10 消防団の認知度         |
| 4 アルコール依存症に対する意識 | 11 地震対策の取組み        |
| 5 肝炎対策           | 12 自転車損害賠償責任保険等の加入 |
| 6 「未病改善」の取組み     | 13 スポーツ            |
| 7 かながわの広報        | 14 東京2020大会に関する取組み |

### ◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

- ▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒**に入れ、**11月24日(火)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)
- ▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要**です。

### 【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

- **問合せフォーム** (11月24日までの期間限定)  
 県民ニーズ調査HP (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)  
 に掲載している「令和2年度調査対象者」向けお問い合わせフォーム  
 から送信してください。
- **電話** (045)210-1111 (内線3672～3676)  
 ※ 受付時間：月～金 8:30～17:15(土日祝日は閉庁)

# 1 気候変動への適応

問1 「気候変動への適応」について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	48.0	3 知らなかった	19.4
2 言葉は聞いたことがある	30.6		(無回答 2.0)

近年、気温上昇や大雨の頻度増加などの気候変動により、健康や自然災害などの分野に影響が現れており、地球温暖化が進むとこれらの影響はさらに大きくなる恐れがあります。こうした影響による被害を避けたり、軽減することを「気候変動への適応」といいます。

問2 「気候変動への適応」に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 関心がある	42.1	3 どちらかといえば関心がない	6.0
2 どちらかといえば関心がある	45.0	4 関心がない	1.8
		5 分からない	3.6
			(無回答 1.6)

問2で「1、2 (関心がある)」とお答えの方に

問2-1 次の気候変動の影響のうち、特に「気候変動への適応」の取組みが必要だと思うものはどれですか。 (○は2つまで) (n=1,312) (%)

1 米などの農作物の品質低下	15.0
2 漁獲量減少などの水産業への被害	21.9
3 ダムや湖の水質悪化	2.7
4 森林や海、湖などの生態系の変化	36.7
5 高波や土砂災害などの自然災害の増加	63.8
6 熱中症などの健康被害の拡大	32.9
7 交通・電気・水道などのインフラへの被害	15.8
8 その他 ( )	0.9
	(無回答 2.5)

問2で「3、4 (関心がない)」とお答えの方に

問2-2 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しいと思うのはなぜですか。 (○は2つまで) (n=117) (%)

1 気候変動の影響の内容がよく分からない	29.9
2 気候変動の影響の危機感が感じられない	20.5
3 具体的に何をしたらいいのかわからない	59.8
4 国や大企業が率先して取り組むべきだ	12.0
5 その他 ( )	6.8
6 特に理由はない	4.3
	(無回答 0.0)

## 2 環境に配慮した生活

- 問3 多少値段が高くても再生可能エネルギーを利用した電力を購入したいと思いますか。(〇は1つ)  
(n=1,507) (%)
- |              |      |             |           |
|--------------|------|-------------|-----------|
| 1 購入したいと思う   | 30.2 | 3 どちらともいえない | 48.5      |
| 2 購入したいと思わない | 20.3 |             | (無回答 1.0) |
- 問4 多少値段が高くても有機栽培など環境にやさしい方法で作られた農作物を購入したいと思いますか。  
(〇は1つ) (n=1,507) (%)
- |              |      |             |           |
|--------------|------|-------------|-----------|
| 1 購入したいと思う   | 46.2 | 3 どちらともいえない | 38.2      |
| 2 購入したいと思わない | 14.7 |             | (無回答 0.9) |
- 問5 興味のある環境問題について情報収集していますか。(〇は1つ) (n=1,507) (%)
- |           |      |             |           |
|-----------|------|-------------|-----------|
| 1 収集している  | 20.0 | 3 どちらともいえない | 28.3      |
| 2 収集していない | 50.7 |             | (無回答 1.0) |
- 問6 NPO等が行っている環境保全活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ) (n=1,507) (%)
- |                      |      |             |           |
|----------------------|------|-------------|-----------|
| 1 参加したいと思う、すでに参加している | 10.9 | 3 どちらともいえない | 51.1      |
| 2 参加したいと思わない         | 36.8 |             | (無回答 1.3) |
- 問7 企業等の持つ技術力が地球温暖化などの環境問題の解決に生かされていると思いますか。  
(〇は1つ) (n=1,507) (%)
- |                |      |             |           |
|----------------|------|-------------|-----------|
| 1 生かされていると思う   | 40.8 | 3 どちらともいえない | 36.2      |
| 2 生かされていると思わない | 21.2 |             | (無回答 1.7) |

## 3 生物多様性

- 問8 「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ) (n=1,507) (%)
- |               |      |          |           |
|---------------|------|----------|-----------|
| 1 知っている       | 37.5 | 3 知らなかった | 23.5      |
| 2 言葉は聞いたことがある | 37.8 |          | (無回答 1.2) |

「生物多様性」とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持っていることをいいます。こうした様々な自然や生きものたちが育む水や空気、食べ物などの恵みにより、私たちの暮らしは支えられています。

- 問9 県における生物多様性の保全について、どの取組みが重要だと思いますか。(〇は3つまで)  
(n=1,507) (%)
- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 1 山や海、里山などの自然環境を保全する取組み | 84.9      |
| 2 希少な動植物を保護する取組み        | 41.7      |
| 3 外来生物を防除する取組み          | 58.2      |
| 4 野生生物による被害を軽減する取組み     | 30.1      |
| 5 県民への普及啓発、保全に配慮した行動促進  | 30.2      |
| 6 その他 ( )               | 0.8       |
| 7 分からない                 | 3.0       |
|                         | (無回答 1.5) |

問 10 生物多様性について知る、または行動する機会として、どの取組みに参加したいと思いますか。  
(○は3つまで) (n=1,507) (%)

1	生物多様性の保全などに関する講座や研修会	19.8
2	自然や生きものとふれあう観察会	35.6
3	身近な生きものの生息状況の調査	26.5
4	緑地や里山などの自然環境の保全・再生活動	49.4
5	みどりの保全などに対する募金や寄付	23.2
6	その他 ( )	1.3
7	参加したいとは思わない	21.6

(無回答 2.1)

## 4 アルコール依存症に対する意識

問 11 適度な飲酒量※を知っていますか。(○は1つ) (n=1,507) (%)

1	知っている	67.8	2	知らなかった	30.3	(無回答 1.9)
---	-------	------	---	--------	------	-----------

※厚生労働省の示す指標では、適度な飲酒量は1日平均「純アルコール20g程度」の飲酒とされています。大体「ビール中ビン(500ml)1本」「日本酒1合」「チューハイ(7%)350ml缶1本」「ウイスキーダブル1杯(60ml)」などに相当します。

問 12 アルコールについて、知っていることを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,507) (%)

1	依存性がある飲み物である	87.8
2	継続的な多量飲酒は、肝臓だけでなく、すべての臓器に悪影響を及ぼす	79.4
3	多量飲酒者は、がんになる確率が飲まない人よりも高い	39.3
4	睡眠の質を落とす	48.6
5	うつ病を引き起こす原因となる	20.9
6	継続的な多量飲酒は、家庭生活に悪影響を与える可能性がある	71.2
7	うつ状態でのやけ酒は、自殺を引き起こす恐れがある	29.7
8	女性は、男性よりもアルコールによる身体のダメージを受けやすい	26.4
9	妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたす恐れがある	82.8
10	未成年の飲酒は、二次性徴や脳の発達に悪影響がある	66.2
11	どれも知らなかった	0.5

(無回答 1.1)

問 13 アルコール依存症について、知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,507) (%)

1	飲酒をコントロールすることができない精神疾患である	92.3
2	飲酒をしていれば誰もがなりえる	49.9
3	進行がゆっくりなため自覚症状がない	29.2
4	断酒を続けることにより回復する	44.0
5	お酒に強い人の方がなりやすい	19.0
6	どれも知らなかった	1.4

(無回答 1.3)

問 14 アルコール依存症について、相談できる場所として知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,507) (%)

1 医療機関 (病院や診療所等)	84.1
2 公的機関 (精神保健福祉センターや保健所等)	39.4
3 自助グループ (断酒会などの依存症当事者やその家族の組織)	38.5
4 自助グループ以外のNPOなどの民間団体	18.2
5 どれも知らなかった	9.0

(無回答 1.4)

問 15 アルコール依存症について、相談場所を知っていれば、相談しますか。(すでに相談したことがある場合を含む)

(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 する (すでに相談したことがあるを含む)	48.6	2 しない	44.8	(無回答 6.6)
------------------------	------	-------	------	-----------

## 5 肝炎対策

問 16 ウイルス性肝炎という病気を知っていますか。

(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	59.9	3 知らなかった	6.0
2 言葉は聞いたことがある	32.3		(無回答 1.9)

肝炎は、肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気で、日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっています。ウイルス性肝炎は、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 17 これまでに「肝炎ウイルス検査」※を受けたことがありますか。(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 ある	20.0	3 ない	55.7
2 受けた可能性がある	10.4	4 分からない	12.4

(無回答 1.5)

※「肝炎ウイルス検査」は、本人が自覚的に受検する場合と、大きな外科手術(全身麻酔での手術で1993年以降に経験)、妊娠・出産(1993年以降に経験)及び献血時(1990年以降に経験)に無自覚に受けた可能性があります。

問 17で「1 ある」または「2 受けた可能性がある」とお答えの方に

問 17-1 検査の結果をご存知ですか。

(○は1つ) (n=458) (%)

1 知っている	75.5	3 分からない、覚えていない	20.3
2 知らない(結果待ちを含む)	3.7		(無回答 0.4)

問 17で「3 ない」とお答えの方に

問 17-2 これまで「肝炎ウイルス検査」を受けなかった主な理由を選んでください。

(○は3つまで) (n=839) (%)

1 忙しいから	7.3	5 健康なので必要ないから	44.9
2 費用がかかるから	9.4	6 その他 ( )	4.1
3 日程や場所が分からなかったから	16.6	7 特に理由はない	36.0
4 検査の内容や結果が不安だから	3.2		(無回答 0.5)

## 6 「未病改善」の取組み

問 18 「未病 (ME-BYO)」という言葉を知っていますか。(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 ある	54.6	2 ない	43.0	(無回答 2.4)
------	------	------	------	-----------

「未病」とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間に連続的に変化するものと捉え、すべての変化の過程を表す概念です。

問 18 で「1 ある」とお答えの方に

問 18-1 「未病 (ME-BYO)」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=823) (%)

1 知っている	66.3	2 知らなかった	32.2	(無回答 1.5)
---------	------	----------	------	-----------

問 19 過去1年間で「未病改善※」の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流等)を以前と比べて行うようになったと思いますか。(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 もともと行っており、今も行っている	23.6
2 以前ほどではないが、少しずつ行っている	17.1
3 以前は行っていたが、まったく行わなくなった	2.5
4 以前は行っていなかったが、行うようになった	5.6
5 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった	13.6
6 以前から行っておらず、今も行っていない	30.3
(無回答 7.5)	

※「未病改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことです。県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組みを進めています。

「食」：健康的な食生活へ改善すること。オーラルフレイル(心身の機能の低下につながる口腔機能の虚弱な状態)対策も重要です。

「運動」：日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の良い睡眠も重要です。

「社会参加」：ボランティアや趣味の活動等で他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。

問 20 「未病改善」の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流等)をするにあたって必要だと思うものは何ですか。(○は3つまで) (n=1,507) (%)

1 医師等、専門家からの専門的知見に基づく現在の健康状態に関するアドバイス	39.2
2 健康に良い食材や調理方法等、食に関する情報	45.3
3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口	5.2
4 スポーツセンター等、気軽に運動ができる施設	35.3
5 家族、友人等、一緒に健康に良い行動ができる仲間	39.9
6 自分の健康状態を気軽に知ることができる施設やイベントなど	29.7
7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス	2.7
8 将来(10~20年後)の自分に起こりうる健康リスク (生活習慣病や認知症など)を知ること	27.4
9 その他 ( )	1.1
10 特になし	5.9

(無回答 6.6)

## 7 かながわの広報

問 21 県では、広報紙や県提供のテレビ・ラジオ番組、インターネット、ホームページ等で様々な県政情報をお伝えしています。県は、県政の情報を十分に伝えていると思いますか。(〇は1つ)  
(n=1,507) (%)

1 伝えている	8.8	4 伝えていない	7.4
2 どちらかといえば伝えている	33.8	5 分からない	33.5
3 どちらかといえば伝えていない	13.5	(無回答)	3.0

問 22 県が県政情報を伝えている広報媒体について、知っているものを選んでください。  
(〇はいくつでも) (n=1,507) (%)

1 県の公式 YouTube 動画サイト「かなチャンTV」	6.6
2 県の広報紙「県のたより」	67.2
3 県の広報テレビ番組(tvk「カナフルTV」)	14.3
4 県の広報ラジオ番組(FM 横浜「KANAGAWA Muffin」)	11.8
5 県のホームページ	37.1
6 県のソーシャルメディア※	2.0
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシ等	19.2
8 新聞での紙面広報	16.6
9 タウン誌、ミニコミ誌等	24.0
10 知っているものはない	10.8
(無回答)	3.2

※ソーシャルメディアとは、例えば Twitter、Facebook、Instagram などがあります。

問 23 県の事業や行事、お知らせ等の情報をどこから入手していますか。  
(〇はいくつでも) (n=1,507) (%)

1 県の公式 YouTube 動画サイト「かなチャンTV」	2.5
2 県の広報紙「県のたより」	56.5
3 県の広報テレビ番組(tvk「カナフルTV」)	7.2
4 県の広報ラジオ番組(FM 横浜「KANAGAWA Muffin」)	7.0
5 県のホームページ	22.2
6 県のソーシャルメディア	3.5
7 県が発行する冊子・パンフレット・チラシ等	15.4
8 新聞での紙面広報	15.9
9 タウン誌、ミニコミ誌等	17.9
10 どこからも入手していない	19.6
(無回答)	2.9

## 8 地域コミュニティ

問 24 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3密を避ける新しい生活様式が求められる中、地域住民・家族・親族・友人等とのコミュニティにおいて、どのような手段によるコミュニケーションが増えていると思いますか。 (〇はいくつでも) (n=1,507) (%)

1	マスク着用等による対面でのやりとり	79.0
2	顔が見えるテレビ電話・ビデオ通話	41.1
3	電子メール、LINE、チャット、ソーシャルメディア※等	68.5
4	電話	32.9
5	手紙やはがき	4.9
6	ファクシミリ	1.3
7	その他 ( )	0.4
8	分からない	3.1

(無回答 1.3)

※チャットとは、インターネットを介してリアルタイムに会話するしくみのことです。また、ソーシャルメディアには、例えば、Twitter、Facebook、Instagramなどがあります。

問 24 で 1～7 のいずれかをお答えの方に

問 24-1 このようなコミュニケーションは取りやすいと思いますか。

(〇は1つ) (n=1,442) (%)

1	そう思う	27.1	4	どちらかといえばそう思わない	14.0
2	どちらかといえばそう思う	35.0	5	そう思わない	3.6
3	どちらともいえない	18.9			(無回答 1.3)

問 24-1 で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」とお答えの方に

問 24-1-1 その理由は何ですか。

(〇はいくつでも) (n=896) (%)

1	表情を気にしなくてよい	20.0	4	相手の思いや考えが伝わりやすい	16.5
2	普段できないような話がしやすい	7.4	5	気軽に連絡しやすい	76.3
3	自分の思いや考えを伝えやすい	25.7	6	その他 ( )	3.5
					(無回答 1.8)

問 24-1 で「4 どちらかといえばそう思わない」または「5 そう思わない」とお答えの方に

問 24-1-2 その理由は何ですか。

(〇はいくつでも) (n=254) (%)

1	相手の表情が分かりにくい	70.5	4	相手の思いや考えが伝わりにくい	53.1
2	必要最小限の話だけに なりやすい	57.5	5	気軽に連絡しにくい	42.1
3	自分の思いや考えを伝えにくい	50.8	6	その他 ( )	5.9
					(無回答 0.8)

## 全員の方がお答えください

問 25 コロナ禍を機に始めたコミュニケーションの取り方を今後も続けたいと思いますか。(○は1つ)  
(n=1,507) (%)

1 そう思う	26.5	5 そう思わない	9.4
2 どちらかといえばそう思う	28.5	6 分からない	7.6
3 どちらともいえない	17.6	7 その他 ( )	0.9
4 どちらかといえばそう思わない	7.2		(無回答 2.3)

## 9 子育てにおける体罰

問 26 保護者から子どもへの体罰が許されないものである、と法律で定めていることを知っていますか。  
(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	73.1	3 知らなかった	10.0
2 聞いたことはある	14.9		(無回答 2.1)

2019年6月に成立した児童福祉法等の改正法において、体罰禁止が法定化され、2020年4月1日から施行されました。この法律施行の背景には、保護者が「しつけ」と称して暴力・虐待を行い、子どもの命が失われる痛ましい事件が続いたことがあります。

問 27 体罰等は子どもの成長・発達に悪影響を与えることは科学的にも明らかになっており、体罰等が繰り返されると、心身にさまざまな悪影響が生じる可能性があることが報告されています。次に挙げるもののうち、体罰等が子どもに与える影響について知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,507) (%)

1 身体に苦痛、不快感を与える	85.5	6 感情をうまく表せない	69.6
2 親子関係を悪くする	70.9	7 落ち着いて話を聞けない	41.6
3 攻撃的になる	53.5	8 我慢ができない	33.2
4 びくびくして落ち込む	68.9	9 自信をなくす	68.1
5 子どもの心を傷つける	84.6	10 知っているものはない	2.1

(無回答 2.0)

問 28 子どものしつけで困った時に、誰に(どこに)相談すべきだと思いますか。(○はいくつでも)  
(n=1,507) (%)

1 家族や親戚	76.3	6 市役所や町役場、村役場	18.0
2 友人や知人	62.5	7 児童相談所	37.9
3 子どもの学校や幼稚園、保育園等	39.1	8 その他( )	2.1
4 子育てサークル	16.3	9 相談したくない	0.7
5 子育て支援センター	44.1		(無回答 2.4)

## 10 消防団の認知度

問 29 消防団を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	84.0	3 知らなかった	1.7
2 言葉は聞いたことがある	13.3	(無回答)	1.1

消防団とは、地域の安全・安心を守るため、普段は別の仕事などをしながら、消火・救助活動、防火啓発活動などを行う地域住民等で構成される市町村の消防機関です。

問 30 消防団に入団したいと思いませんか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 入団したい	0.7	5 入団したくない	
2 条件が合えば入団してもよい	7.8	(内容をよく知らないから)	12.4
3 入団したくない		6 すでに入団している	0.4
(活動する時間がないから)	31.3	7 どちらともいえない	18.8
4 入団したくない		(無回答)	4.1
(活動が大変そうだから)	24.5		

問 31 消防団の活動や消防団員の待遇で魅力を感じることは何ですか。 (○はいくつでも)

(n=1,507) (%)

1 地域社会に貢献できる	53.2	6 年額報酬や出動手当が支払われる	7.0
2 無線や船舶の資格を取得できる		7 功労に応じて表彰制度がある	2.9
機会がある	5.4	8 学生消防団には、就職活動を支援する	
3 応急手当の知識や救助技術が		制度がある	2.1
身につく	43.2	9 その他 ( )	0.7
4 女性が活躍できる場がある	3.9	10 特にない	15.5
5 制服や防火服を着て活動ができる	1.7	11 分からない	16.9

(無回答 3.1)

## 11 地震対策の取組み

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

問 32 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。 (○はいくつでも)

(n=1,507) (%)

1 非常持ち出し品の準備	54.9	7 防災訓練に積極的に参加	9.4
2 食料や飲料水の備蓄	67.9	8 感震ブレーカー等※の設置	6.6
3 住まいの耐震化	18.8	9 消火器の設置	25.0
4 家具・家電などの固定	36.5	10 その他 ( )	1.1
5 避難場所や避難経路の確認	42.3	11 特に対策はしていない	9.9
6 家族と連絡方法の確認	39.3	(無回答)	0.9

※感震ブレーカー等とは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

問 33 海岸や海岸近くで、地震による強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、どのように行動しますか。

(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 すぐに海岸から避難する (5分以内)	92.6	3 津波が迫ってから避難する	0.6
2 用事を終えてから避難する (15分以内)	2.1	4 分からない	3.5

(無回答 1.3)

問 34 次のことを知っていましたか。「知っていた」、「知らなかった」のどちらかに○をつけてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

(n=1,507) (%)	知っていた	知らなかった	(無回答)
(1) 小さな揺れでも大きな津波になることがある	69.3	29.2	1.5
(2) 津波は、早ければ地震発生後数分で到達する	91.3	7.4	1.3
(3) 津波は、繰り返し襲ってくる	89.9	8.5	1.6
(4) 津波の伝わる速さは非常に速い (津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わる)	60.8	37.0	2.1
(5) 「津波避難ビル」に指定されている建物がある	48.4	49.6	2.1
(6) 津波の浸水範囲や避難情報などが記載された「津波浸水予測図マップ」「津波ハザードマップ」がある	74.9	23.2	2.0
(7) 津波から避難するときは、「遠いところ」ではなく「高いところ」に逃げる必要がある	94.0	4.8	1.3
(8) 津波警報・注意報等が発表されると、避難を呼びかけるために、海岸に赤と白の格子模様の旗 (津波フラッグ) が出されることがある	15.9	82.0	2.1
(9) 津波の発生する恐れがあるとき、海や海岸にいる人に対して、放送やサイレンで津波の情報を知らせることがある	80.4	17.8	1.8
(10) 東日本大震災の教訓を踏まえて、総合的な地域づくりの中で津波防災を推進する「津波防災地域づくりに関する法律」が2011年12月に施行された	19.3	78.9	1.8

問 35 津波に対する防災・減災の観点から、住んでいる地域で実施が望まれるものはありますか。

(○はいくつでも) (n=1,507) (%)

「津波災害警戒区域」の指定

津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域です。津波から「逃げる」ために、避難訓練の実施、津波ハザードマップの作成、避難施設の確保等、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。建物の建築や開発行為は制限されません。

「津波災害特別警戒区域」の指定

津波災害警戒区域のうち、津波が発生した場合、建物が損壊・浸水し、住民等の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。身体的な理由などにより、津波から逃げるのが難しい住民等が、建物の中にも津波を「避ける」ことができるよう、社会福祉施設、医療施設、学校等を建築する場合などに、一定の規制があります。

「推進計画」の策定

津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画で、市町村が実施する施策だけでなく、国・都道府県・地域住民など多様な主体によるハード（津波防護施設の整備）・ソフト（避難訓練の実施等）のあらゆる施策を計画に位置付けることができます。

1 「津波災害警戒区域」の指定	30.0	5 その他 ( )	1.2
2 「津波災害特別警戒区域」の指定	27.1	6 特にない	8.1
3 津波防災ビジョンを示す「推進計画」の策定	21.3	7 分からない	19.5
4 内陸に住んでいるため特に望むものはない	29.3	(無回答)	4.0

## 12 自転車損害賠償責任保険等の加入

問 36 通勤や通学、その他日常生活で自転車を利用していますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 利用している	31.9	2 利用していない	66.6	(無回答)	1.5
----------	------	-----------	------	-------	-----

問 36 で「1 利用している」とお答えの方に

問 36-1 自転車損害賠償責任保険等※に加入していますか。 (○は1つ) (n=480) (%)

1 加入している	74.8	3 分からない	4.2
2 加入していない	20.8	(無回答)	0.2

※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車を利用中の交通事故で、相手の怪我などの被害に係る損害を補償する保険等のことです。保険等には、自転車専用の保険のほか、自動車保険などの特約（個人賠償責任保険）、自転車に付帯するTSマーク保険などがあります。

全員の方がお答えください

問 37 すべての自転車利用者が自転車損害賠償責任保険等に加入することについてどう思いますか。

(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 加入すべきである	83.6	3 分からない	9.6
2 その必要はない	4.9	(無回答)	1.9

## 13 スポーツ

問 38 ご自身の体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 ある	7.7	4 ない	25.0
2 どちらかといえばある	30.9	5 分からない	5.2
3 どちらかといえはない	29.9		(無回答 1.3)

問 39 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。

(○は1つ) (n=1,507) (%)

1 週に5日以上	9.9	5 月に1～3日程度	13.1
2 週に3日程度	14.5	6 3ヶ月に1～2日程度	7.0
3 週に2日程度	11.5	7 年に1～3日程度	12.9
4 週に1日程度	13.9	8 分からない	15.3

(無回答 1.9)

※1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 40 「3033 (サンマルサンサン) 運動※」について知っていますか。 (○は1つ)

(n=1,507) (%)

1 知っている	3.8	3 知らなかった	83.4
2 言葉は聞いたことがある	11.6		(無回答 1.1)

※3033 (サンマルサンサン) 運動とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3ヶ月間継続して行い、暮らしの一部として習慣化する取組みのことです。

問 41 「総合型地域スポーツクラブ※」について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	9.0	3 知らなかった	78.6
2 言葉は聞いたことがある	11.1		(無回答 1.3)

※総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が主体となって運営する多種目、多世代、多志向型のスポーツクラブのことです。

問 42 「かながわパラスポーツ※」について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	3.3	3 知らなかった	82.5
2 言葉は聞いたことがある	12.6		(無回答 1.5)

※かながわパラスポーツとは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることです。

## 14 東京 2020 大会に関する取組み

問 43 東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング※競技が江の島で開催されます。

セーリング競技に興味・関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 興味・関心があり、定期的に競技を行っている	0.3
2 興味・関心があり、セーリングの体験や見学、競技観戦をしたことがある	1.7
3 どちらかといえば興味・関心がある	26.3
4 どちらかといえば興味・関心はない	38.8
5 興味・関心はない	31.2

(無回答 1.6)

※セーリングとは、セール（帆）に受ける風の力で動く小型の船を使用したヨットやウィンドサーフィンなどのスポーツのことです。

問 44 東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を観戦したいと思いませんか。 (○は1つ)

(n=1,507) (%)

1 競技会場に行って観戦したい	10.7
2 ライブサイト※等大型スクリーンで観戦したい	1.1
3 テレビ・インターネットで観戦したい	35.6
4 観戦するつもりはない	49.2

(無回答 3.5)

※ライブサイトとは、広場などに大型スクリーンを設置し、大勢で一緒に観戦する形態のことです。

問 45 セーリング競技に関する情報を何で得ましたか。 (○はいくつでも) (n=1,507) (%)

1 自治体の広報物	10.0	5 イベント	0.9
2 ホームページ・SNS	3.9	6 家族・知人から	4.0
3 テレビ・ラジオ	34.2	7 その他 ( )	0.5
4 新聞・本・雑誌	12.9	8 得たことがない	47.0

(無回答 4.0)

問 46 東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技会場である江の島を大会開催時期（2021 年 7 月 23 日から 8 月 8 日）も観光できることを知っていますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 知っている	13.7	2 知らなかった	82.3	(無回答 4.0)
---------	------	----------	------	-----------

問 47 来年の夏の東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技開催を機に、江の島を観光したいと思いませんか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 大会開催を機に観光したい	3.1	4 観光したいとは思わない	26.9
2 大会とは関係なく観光したい	20.0	5 その他 ( )	2.5
3 開催期間は避けて、観光したい	32.3	6 分からない	11.5

(無回答 3.6)



F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (○は1つ) (n=1,507) (%)

1 一人暮らし(単身世帯)	10.9	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	6.3
2 夫婦のみ(1世代世帯)	26.5	5 その他の世帯	4.5
3 親と子の世帯(2世代世帯)	48.2	(無回答 3.5)	

F 6 現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。  
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,507) (%)

(n=978) (%)

1 自営業主	5.8	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業	0.4
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.7		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	5.8
			ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.5
3 勤め (フルタイム)	40.4	エ～ケから 1つ選んで ください。	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	9.1
4 勤め (パートタイム)	16.9		オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など)	19.6
5 内職	0.1		カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	21.8
6 主婦・主夫 (勤めていない)	16.7		キ 教育職(教諭、保育士など)	4.4
			ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	8.9
			ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	21.5
7 学生	0.6		(無回答 4.0)	
8 無職	13.4			
9 その他(具体的に: )	1.3			
	(無回答 3.3)			

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月24日(火)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

158 人 (10.5%) から自由意見が寄せられました。